

門徒総会が開催されました

4月5日に、覚浄寺の総会を開催し、年間行事や予算のほか、役員選挙では、長年役員を務めていただいた田中三郎さんと横井豊さんが勇退され、新たに馬場徹さんが選出されました。寺則では役員は5名となっておりませんが、少ない門徒のため2026年度は1名欠員の4名体制となります。また、総代は倉内英治さんがお引き受けくださいました。倉内さんは役員4年目で任期の最終年度となるため、総代の任期も1年となります。

【2026年度役員・担当】

- 倉内英治さん 総代
- 安居智紀さん 山科講
- 安居博文さん 会計
- 馬場 徹さん 新任



役員の方々、お世話になります。よろしくお願いいたします。

【2026年度の主な行事予定】

- 5月 5日(火) 花まつり
- 6月 27日(土) 花たて幕吊り
- 6月 28日(日) 秋季永代経 (平和の集い)
- 8月 15日(土) お盆会
- 9月 23日(水) 彼岸会
- 10月 17日(土) すずはき
- 10月 23日(金) 花たて幕吊り
- 10月 24日(土) 報恩講
- 10月 25日(日) 報恩講
- 11月 31日(木) 除夜会
- 1月 1日(金) 修正会
- 2月 20日(土) 花たて幕吊り
- 2月 21日(日) 春季永代経
- 3月 21日(日) 老人会追弔会
- 3月 21日(日) 彼岸会

◆ 総会の最後に、前任職の頃から、長きにわたって、役員・総代として覚浄寺の護持にご尽力くださいました田中三郎さんに住職から感謝状を贈呈させていただきました。長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。

- 5月(皐月)
- 五日(祝) 花まつり 九時
- 一七日(日) お講 十一時
- 二六日(月) 教区親鸞聖人鑽仰会

くらしの仏教用語

一蓮托生(いちれんたくしょう)

「あなたと私は一蓮托生だ」とか、「ここまで来た以上、我々は一蓮托生で進むしかない」など、運命を共にするようなときに一蓮托生という言葉を使いますね。

以前、飛行機に乗ったときに、めちやくちや揺れてとても怖い思いをしたことがあります。その時は、パイロットにお任せするしかなく、「パイロットと乗客は一蓮托生だ」と覚悟を決めたことを思い出します。

どちらかと言うとネガティブなイメージのある言葉ですが、もともとは、お浄土で同じ蓮の花の上に生まれることを喜ぶ言葉でした。

江戸時代の「物語」では盛んにこの言葉が使われたそうです。封建的な江戸時代の社会で、この世で結ばれることのない恋人たちが来世こそ添い遂げようと願うときに「あなたと私は一蓮托生ね」と、二人の絆を確かめあったのかもしれない。

住職も、門徒の皆さんも一蓮托生ですね！



アウシュビッツ訪問記⑤

第2次世界大戦時、ナチス・ドイツは、ユダヤ人をゲットーと呼ばれる狭いエリアに強制的に隔離しました。ドイツが占領していたポーランドのクラクフの街には、今も、ゲットーを取り囲んでいた塀の一部が残っています。地図を頼りに壁を探して歩いていくと、普通の住宅の前には、突然黒ずんだ壁が現れました。そこには、こう書かれていました。

「ここで彼らは生き、苦しみ、そしてヒトラーの処刑者の手によって死んだ。ここから彼らは絶滅収容所への最後の旅に出た」と。

5月の掃除当番は、馬場徹さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ

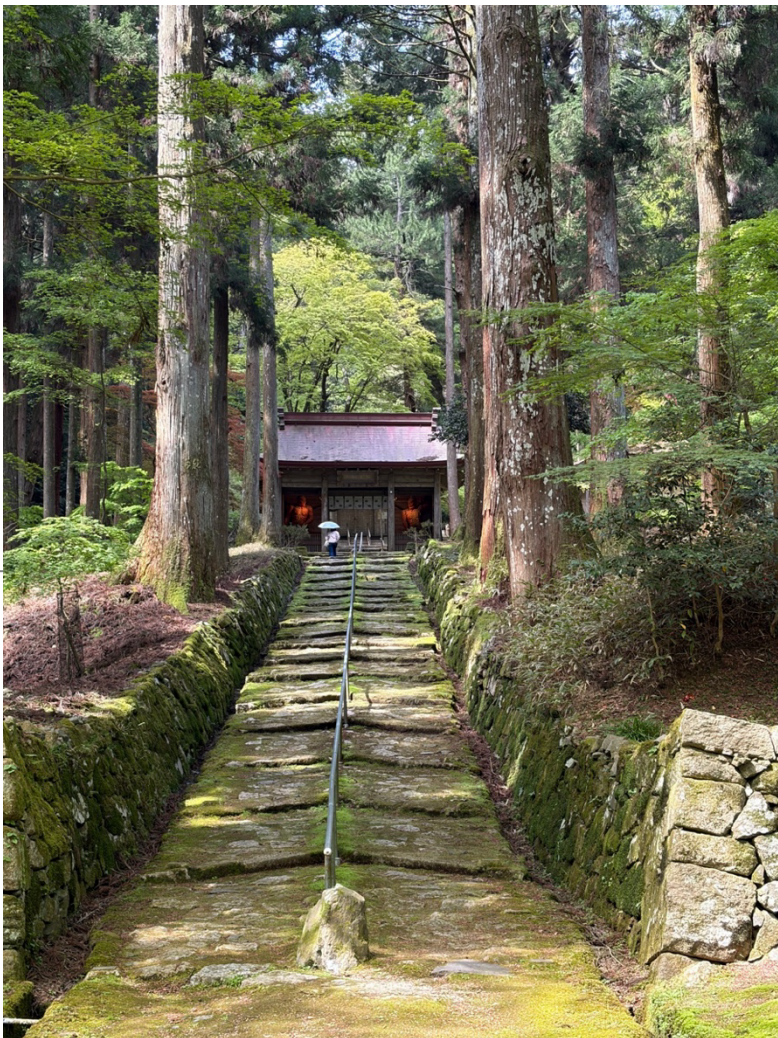


世界お寺めぐり

金勝寺(栗東市)

栗東トレーニングセンターを過ぎると、道路はどんだん山の中へ入っていきます。さらに狭い脇道に入ってクネクネと登っていき、細い道が続いて不安になってきたころ、金勝山金勝寺(きんしょうざん きんしょうじ)に到着しました。一带は金勝(こんぜ)アルプスと呼ばれていて、現在ではハイキングコースなども整備されているものの、こんな山奥によくぞ立派なお寺を建てたものだ、と、驚きます。

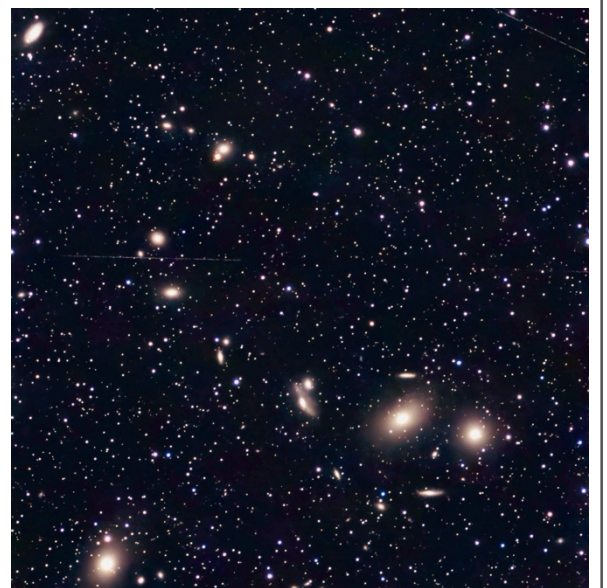
境内は、巨木と苔むした石垣に包まれて、とても静かです。このお寺は奈良時代に建てられたそうで、もともとは興福寺の修行道場だったとか(現在は天台宗のお寺になっています)。世間から隔絶した山の中は修行にもってこいの場所だったのだと思います。ゆっくりと階段を登っていくと、仁王さんのお出迎え。点在するお堂には、大きな仏さまがおられ、かつて湖南地域の一大仏教聖地だった様子うかがい知ることが出来ます。長い年月と厳しい自然の中で建物や仏さまの傷みもありますが、それほど長く地域の人たちの信仰が続いてきたのだと感じました。



苔むした金勝寺の参道。とても静かで心が落ち着きます。

ところでお寺の入り口で、受付のおじさんが拝観者一人ひとりに丁寧に「お寺の説明をされていました。単なる観光ではなく、お寺のことをちゃんと知ってもらいたい」という心遣いがありました。 (住職)

住職の星空案内

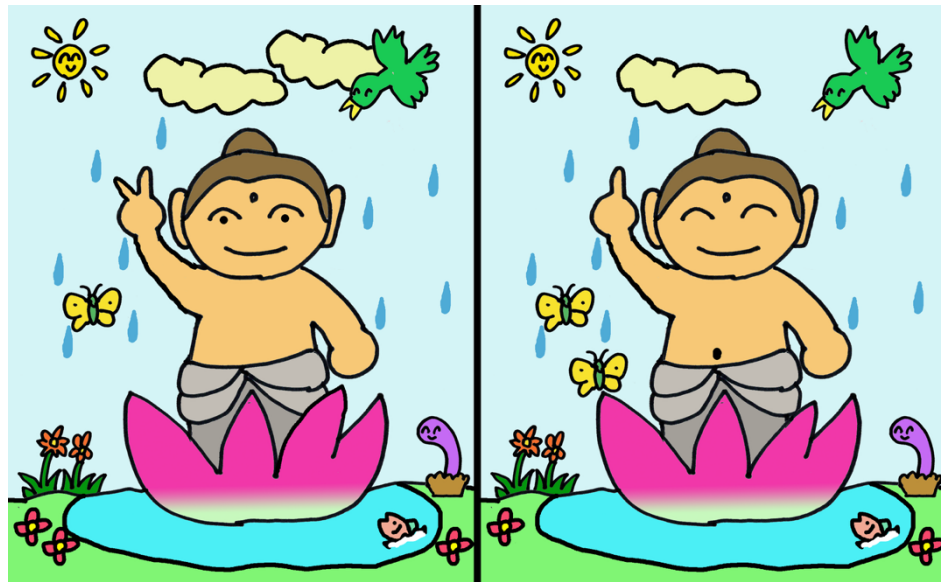


先月に引き続き春の銀河の紹介です。おとめ座の方角にはたくさん銀河を見ることが出来ます。その中でも、まるで宇宙のネックレスのように連なった銀河の集団は、その美しさから「マルカリアンの鎖」と呼ばれています。写真の中に写っている銀河たちが、同じように動いていることを発見したアルメニアの天文学者にちなんで命名されたそうです。

今この季節は、星を見るのにとても適しています。暑くもなく寒くもなく、何より蚊の襲撃がありません。夕方の方の西の空には金星が輝き出しました。夜遅くには賑やかな夏の星座が姿を表します。心地よい風に吹かれて、ゆっくり星空を眺めてみましょう。

くじくイズクイズ

間違い探したよ。お釈迦さまのお誕生の様子です。間違いは7つ。見つけてね。



先月号の答え

